

No.10 別紙

1 活動名 Learn by Creation Nagano プレーヤーズコネクト2021

2 研修の目的

(1) 本市における課題

子どもたちにとって、幼児教育、保育、公教育での多様な学び、教育の拠点、居場所等をどうやって作っていくのか？ 子育て、こども支援。

(2) 研修の必要性

不登校率や自殺率の高い長野県。県下各地で行われている取り組みを知り、学び、教育、保育などに関わる人々がつながることで本市の教育施策、子育て支援につながる。

(3) 研修項目 研修内容に同じ

3 研修内容

(1) 日時 令和3年12月18(土)-19日(日)

(2) 会場 オンライン

(3) 出席者 1名 神津ゆかり

(4) 内容

違いの味わい方 ”みんな違って、みんないい”の半歩先へ

阿部守一（長野県知事）、川向思季（長野県立大学グローバルマネジメント学部生 / 合同会社キキ）、野口晃菜（インクルージョン研究者 / 博士（障害科学））

森のようちえんと魅力的な幼保小のつながり

竹内延彦（長野県池田町教育長）、おおたとしまさ（育児・教育ジャーナリスト）、田中節子（学校法人いづな学園グリーン・ヒルズ小学校・中学校学校長）、中島愛子（東京都日野市立滝合小学校PTA会長）

生徒が語る！高校最前線：違いを味わう特色ある学び

廣田昌彦（長野県教育委員会事務局学びの改革支援課教育幹）、ゆでたかの（長野県住みます芸人）、長野県上田高等学校生徒、長野県須坂高等学校生徒、長野県白馬高等学校生徒、学校法人奈良育英学園 育英西中学校・高等学校

(5) 成果・所感等

私立幼稚園、森の保育園、〇〇メソッドなど、特長のある保育、学びを実践している方のお話はどれも興味深かった。長野県は「おもしろいことをしよう」と集まってくる土壌があるのだろう。山や森が多く、子どもたちにやさしいフィールドを各地につくることができ、それぞれの居場所を見つけて学んでいてもらいたい。松本市においても、公教育の柔軟性を模索し、民間のチャンレジを支援できる仕組みができればいいのではと考えた。

4 政務活動費

(1) 使途項目 研究研修費

(2) 参加費 1500円